

「統計調査の民間開放・市場化テストに関する研究会」 の開催について（修正）

1 目的

規制改革・民間開放推進会議の「規制改革・民間開放の推進に関する第2次答申」（平成17年12月21日）（以下「第2次答申」という。）を踏まえ、平成18年度に実施する試験調査等により、統計調査の民間開放に関する問題点及びその対応策等を具体的に検討するとともに、統計局所管の指定統計調査について市場化テスト・民間開放に向けての計画を策定するなど、統計調査関連業務の市場化テスト・民間開放に関する幅広い検討を行うことを目的として、研究会を開催する。

2 検討内容

平成18年に実施する試験調査等について

統計調査関連業務の市場化テスト・民間開放に関する実践的データを得るために実施する「科学技術研究調査」及び「個人企業経済調査」の試験調査等に関し、準備段階の企画・設計並びに実施後の結果検証・評価等について必要な検討を行う。

統計調査の市場化テスト・民間開放について

「第2次答申」を踏まえ、指定統計調査の市場化テスト・民間開放に向けた計画、上記試験調査等を実施した「科学技術研究調査」及び「個人企業経済調査」の民間開放に向けた課題及び対策、並びに適切かつ効果的な市場化テスト・民間開放の在り方等について、必要な検討を行う。

3 構成員

別紙のとおり。

4 運営

研究会の座長については、上記構成員の互選により定める。

座長は必要があると認めるときは、関係者に研究会への出席を求め、意見を聞くことができる。

研究会の運営その他研究会に関し必要な事項は、座長が定める。

研究会は公開しないが、配布資料は研究会終了後公表する。また、研究会における議論の概要については、事務局で取りまとめの上速やかにホームページ上で公開するとともに、議事録については、構成員の了解を得た上で、ホームページ上で公開する。

研究会の庶務は、統計調査部調査企画課において処理する。

5 開催期間

平成18年3月から19年3月頃まで開催する。

【別紙】

おおはし とよひこ 大橋 豊彦	規制改革・民間開放推進会議専門委員、尚美学園大学総合政策学部教授
おがわ なおひろ 小川 直宏	日本大学人口研究所次長、日本大学大学院総合科学研究科教授
たけうち けい 竹内 啓	東京大学名誉教授
つちや たかひろ 土屋 隆裕	統計数理研究所データ科学研究系助教授
にいむら やすこ 新村 保子	評論家
ふなおか ふみお 舟岡 史雄	統計制度改革検討委員会委員、信州大学経済学部教授

(50音順・敬称略)